

新型コロナ禍の中での助成金等贈呈

セミナー等は多くの予定が延期される



地域のスーパーヒーロー!! 地域貢献班の皆さん



飛沫ブロッカー活用中の小学校

学校研究助成金で地域貢献

県立美里工業高校

飛沫ブロッカーでコロナをブロック

私達の技術を活かして、沖縄の明るい未来を守りたい!! 機械科で学んでいる溶接と機械加工の技術を活かし、3年の課題研究という授業の中で、地域に貢献したい生徒が集まる「**地域のスーパーヒーロー!! 地域貢献班**」が新型コロナウイルス感染を防ぐことはできないかと考え、この飛沫ブロッカーを製作しており、小学校や、中学校、保健室等に配って、地域に貢献しています。材料費をねん出するため、(公財)日教弘沖縄支部の学校研究助成事業に応募し、助成金をいただきました。日教弘沖縄支部の皆さん、飛沫ブロッカー製作費へのご協力に感謝します。ありがとうございました。



翔南小学校における研究助成金贈呈と事業説明会

給付奨学金贈呈・久米島高等学校



公益財団法人 日本教育公務員弘済会沖縄支部は、
「教育の振興」と「教職員の福祉向上」を目的として
右記の3大事業を行っています。



1.教育振興事業

① 奨学事業 ～無利子で奨学金を貸与・給付～



有為の学生・生徒に対する奨学資金の貸与及び給付を行っています。本年度は貸与奨学金を6月30日(火)、給付奨学金を7月10日(金)に募集を締め切り、選考委員会及び幹事会の議を経て日教弘本部へ推薦しました。

2020(令和2)年度実績 累計

貸与奨学金	国立私立大学院、大学、短大等の学生に最高100万円を無利子で貸与。	33名 25,000,000円	5,655名 2,686,550,000円
給付奨学金	県内の公立・私立の高等学校等の生徒を対象に給付。(1校3名以内)	275名 13,750,000円	3,988名 199,400,000円

臨時給付奨学金募集

新型コロナウイルス感染症の影響によって、学資金等の支払いが困難となった高校生を対象に臨時給付奨学金を募集しています。

募集期間：令和2年10月1日(木)～11月30日(火) 募集人数：各高校1名
詳しくは、日教弘沖縄支部ホームページをご覧ください。

② 教育研究助成事業 ～教育研究や実践活動の支援～



学校、教職員及び教育関係団体等が行う教育に関する特に有益な研究(活動)に助成しています。本年度は6月30日(日)に募集を締め切り、選考委員会において選考し、幹事会で決定しました。

◎学校研究助成 170校 16,650,000円 2020(令和2)年度実績(二次募集を含む)

No.	学校名	学校長名	研究テーマ
1	恩納村立安富祖小学校	荻道 哲	思考力・判断力・表現力を高める学習指導を通して ～ICTの有効的な活用を通して～
2	宮古島市立西辺小学校	仲樹 京子	主体的・対話的に学ぶ力を育てる国語科の授業 ～考えをつなげ深める発問の工夫を通して～
3	浦添市立宮城小学校	宮國 義人	学級活動を要とした学級経営の充実 ～互いを認め合い、自己肯定感を育む活動を通して～
4	那覇市立城西小学校	石川 博基	自己を見つめ、互いを認め合う、心豊かな城西っ子の育成 ～考えをつなげ深める対話を通して～
5	那覇市立真嘉比小学校	福本 利江子	思考力・判断力・表現力の育成 ～全員参加型の授業作りの工夫を通して～
6	名護市立瀬喜田小学校	下里 哲弘	自分の考えをもち表現できる児童の育成をめざして ～「問い」が生まれる授業づくりを通して～
7	名護市立小中一貫教育校 屋我地ひるぎ学園 屋我地小学校	渡具知 久浩	「生き抜く力」を育み伸ばす小中一貫教育 ～児童理解を基盤に主体的・対話的で深い学びのある授業改善～
8	宜野湾市立長田小学校	宮平 育子	～自己を見つめ、多面的・多角的に考える道徳科指導の工夫～
9	那覇市立真地小学校	宜保 博哉	「いのちの授業」実践と題して、全学年の系統立てかつ各教科の横断的取組を研究する。
10	名護市立福田小学校	又吉 元晃	自分の思いや考えを伝えあうことが出来る児童の育成 ～聴き合うことを重視した言語活動の充実を通して～
11	那覇市立泊小学校	田名 真利	「オンライン授業実践」に向けての学校の環境整備及び研修の充実について
12	久米島町立清水小学校	野原 勉	「読む力」を高め、論理的に自分の考えを表現できる児童の育成 ～言語活動を図る他者との関わりを通して～
13	石垣市立新川小学校	入高西 義晴	読む力を高め、確かな学力を身に付ける児童の育成 ～言葉の自覚を高め、思考を深める授業づくりを通して～
14	久米島町立大岳小学校	砂川 靖子	深い学びを目指し、主体的に学習に取り組む児童の育成 ～国語科における交流と対話の指導を通して～
15	宮古島市立鏡原小学校	前泊 一郎	言語活動の充実を目指した授業づくり ～国語科説明教材の指導を通して～
16	嘉手納町立嘉手納小学校	浦崎 直哉	確かな学力を育み、いじめ・不登校等を低減する「効果のある指導」の組織的な展開について
17	豊見城市立座安小学校	具志 直哉	子どもが生きて主体的・協働的な学び ～児童が学び方を身につけ、児童主体で展開していく授業の追求～
18	宮古島市立北小学校	砂川 靖夫	未来の創り手となるために必要な資質・能力を育むための教育課程の実現
19	南風原町立北丘小学校	城田 由勝	思考力・判断力・表現力の育成 ～算数科における互いに高め合う交流活動の工夫を通して～
20	南城市立船越小学校	大城 辰秀	児童の思考力・判断力・表現力等を育てる指導の工夫 ～国語科における伝え合うよさを味わわせる授業づくりを通して～
21	宮古島市立城辺小学校	池村 敏弘	課題解決に向け、主体的・協働的に取り組む子どもの育成 ～自分の思いや考えを伝える活動を通して～
22	那覇市立金城小学校	平良 雅司	「新しい時代に求められる資質・能力を身につけた児童の育成」
23	那覇市立仲井真小学校	金城 和也	「問い」をもち、自分の考えを進んで表現する子どもの育成(国語・特活・自活)の学習評価の工夫・改善を通して
24	那覇市立さつき小学校	山里 昌樹	国語科における言語能力の育成 ～問題解決的な学習を通して～
25	石垣市立宮良小学校	仲間 一史	ふれ合い・認め合い・関わり合い・学び合う児童の育成 ～支持的風土を土台とした話し合い活動を通して～
26	石垣市立川原小学校	仲田 涼子	よさを自覚し、自信を持って活動できる児童の育成 ～プロジェクトK(かわはらっ子農園)の活動を通して～

No.	学 校 名	学校長名	研 究 テ ー マ
27	石 垣 市 立 伊 野 田 小 学 校	我那覇 隆	自然豊かな校区において、花いっぱい学校づくりを目指し、子ども達的情操教育の充実を図る。
28	八重瀬町立具志頭小学校	吉村 聡子	自分の考えを持ち、表現できる児童の育成 ～国語科の「読むこと」の指導を通して～
29	伊 是 名 村 立 伊 是 名 小 学 校	島川 直樹	子供の「主体的・対話的で深い学び」を目指す授業づくり(2年次)
30	八重瀬町立新城小学校	城間 勝	「深い学び」を実現する国語科学習指導 ～指導と評価の一体化を通して～
31	宜野湾市立普天間第二小学校	知念 克治	自己を見つめ、生き方についての考えを深める子の育成 ～道徳科の授業における板書と評価についての工夫・改善を通して～
32	宜野湾市立宜野湾小学校	松村 徹	主体的・対話的で深い学びをつくる児童の育成 ～読みから表現につなげるための説明的文章の指導を通して～
33	浦 添 市 立 浦 城 小 学 校	松川 邦昭	校内緑化推進を通じた教科横断的学習の在り方 ～一人一鉢運動と花文字の作成を通して～
34	那 覇 市 立 真 和 志 小 学 校	松田 敦子	主体的に自己の生き方を考えようとする真和志っ子の育成 ～よりよい自分をつくり、ともに生きる力を育む道徳教育を通して～
35	沖 縄 市 立 山 内 小 学 校	中山 盛弥	主体的・対話的で深い学びのできる児童の育成 ～対話を通して学び合う力を育てる(算数科) 授業づくり～
36	うるま市立兼原小学校	與古田 思信	主体的に学習する児童の育成をめざして
37	名 護 市 立 羽 地 小 学 校	玉城 武利	自分の思いや考えを伝え合うことができる児童・生徒の育成
38	うるま市立伊波小学校	池味 勇	「問い」をもち、他者とかわりながら学びを深める子どもの育成 ～「聴く力」を育て、言語活動を意識した授業作りを通して～
39	南 城 市 立 久 高 小 中 学 校	島袋 成良	確かな学力を身につけた児童生徒の育成 ～充実した「振り返り」の実践を通して～
40	座間味村立座間味中学校	平良 真也	校内美化に係る生徒の情緒の育成 ～小・中学校の児童生徒で構成する縦割り班活動をとおして～
41	座間味村立慶留間中学校	二宮 陸生	主体的・対話的で深い学びで問いが生まれる学習指導の工夫「考え議論する道徳」を目指した授業づくり
42	竹富町立小浜小中学校	渡那 ひとみ	地域の歴史・文化に誇りを持ち、学んだ事をもとに、自己の生き方を問い続ける児童生徒の育成
43	石 垣 市 立 富 野 小 中 学 校	宮川 るり子	小中併置校における極少人数の良さを生かした取組の充実に向けて
44	八重瀬町立具志頭中学校	桑江 常勝	「主体的に学習に取り組む生徒の育成」～授業における振り返り活動を通して～
45	石 垣 市 立 石 垣 第 二 中 学 校	友利 始夫	生徒会環境美化委員会と連携した校内美化活動の充実
46	うるま市立具志川東中学校	玉城 祥	生徒一人一人に確かな学力を育む授業づくり ～具志川東(GH) 授業スタンダードによる授業実践を通して～
47	国 頭 村 立 国 頭 中 学 校	新垣 博文	「きき合い 学び合い 支え合う 共同的な学び」～学びに夢中になれる生徒の育成を目指して～
48	石 垣 市 立 白 保 中 学 校	與世山 淳	地域と連携した教育活動を深める取組みの推進 ～安全教育・環境教育を通して～
49	久米島町立久米島西中学校	宮城 肇	自ら学び、考えを深め合える授業作り ～教科の特性を生かした「ファシリテーション」を通して～
50	宜野湾市立普天間中学校	佐伯 進	「確かな学力」の定着と活用する力の育成 ～根拠を示し、自分の考えを伝える力の育成を通して～
51	北 中 城 村 立 北 中 城 中 学 校	友寄 ゆかり	主体的・対話的で深い学びに向かう生徒の育成
52	浦 添 市 立 神 森 中 学 校	仲盛 康治	他者との関わりを尊重し、自分の思いを伝えられる力の育成
53	沖 縄 市 立 山 内 中 学 校	仲宗根 賢	生徒の思考力・判断力・表現力を高め、主体的に学ぶ生徒の育成 ～対話的で深い学びのある授業づくりを通して～
54	名 護 市 立 小 中 一 貫 教 育 校 屋我地ひるぎ中学校	渡具知 久浩	「生き抜く力」を育み伸ばす小中一貫教育 ～児童理解を基盤に主体的・対話的で深い学びのある授業改善～
55	沖 縄 県 立 開 邦 中 学 校	宮城 薫	ICT機器を活用した授業方法の研究
56	沖 縄 県 立 球 陽 中 学 校	平良 淳	未来カルテとキャリア・パスポートの活用を通して ～自立から自走へつなげる資質・能力の育成～
57	南 城 市 立 玉 城 中 学 校	上原 久由	「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」～コロナ禍における学習者主体の学習方法へ向かわせる授業改善～
58	浦 添 市 立 仲 西 中 学 校	神谷 加代子	自己をみつめ人間としての生き方についての考えを深める生徒の育成
59	宮 古 島 市 立 北 中 学 校	久高 三彦	他者と協働し、粘り強く課題を解決しようとする態度を育む授業づくりを通して
60	名 護 市 立 屋 部 中 学 校	宮里 嘉昌	「自ら考え、ねばり強い生徒の育成」～「考え・伝え合う授業づくり」を通して～
61	西原町立西原東中学校	親泊 正幸	主体的に対話し、学びに向かう生徒の育成 ～自らの問いを持ち、考え、高めあい、課題を解決する授業づくり～
62	読 谷 村 立 古 堅 中 学 校	比嘉 政宏	キャリア教育の視点を踏まえた「確かな学力」の向上 ～主体的・対話的で「深い学び」のある授業を通して～
63	宮 古 島 市 立 城 辺 中 学 校	西里 純二	「生徒の学力を全国水準に高め、維持する」上記のテーマをもとに、実効性のある取り組みを推進する。教材・教員を活用し、主体性のある取り組みにする。
64	沖 縄 県 立 本 部 高 等 学 校	上間 均	COVID-19感染症による休校時の遠隔授業研究 ～普段の授業と休校中の学習のギャップを埋めるために～
65	沖 縄 県 立 那 覇 国 際 高 等 学 校	仲宗根 勝	緊急時におけるオンライン授業及びICTを効果的に活用した授業展開
66	沖 縄 県 立 球 陽 高 等 学 校	平良 淳	探究活動(国際探究Ⅰ)における主体的・対話的な場面を取り入れた指導方法の研究
67	沖 縄 県 立 泊 高 等 学 校 通 信 制 課 程	玉城 智枝美	「心に響く人権教育の取組み 一見えないから見えたもの」を通して、自己の生き方を考える
68	沖 縄 県 立 首 里 高 等 学 校	星野 朗	コロナ禍におけるオンラインによる指導体制の充実
69	沖 縄 県 立 八 重 山 商 工 高 等 学 校	波平 孝夫	ものづくりを取り入れた実習課題研究の取り組み ーロボットアメリカンフットボール全国大会を目指してー
70	沖 縄 県 立 宜 野 湾 高 等 学 校	津留 一郎	「総合的な探究の時間」及び「コース改編」に向けた取組の研究
71	沖 縄 県 立 豊 見 城 南 高 等 学 校	憊間 昌子	生徒や保護者、地域社会から求められる学校づくりの研究
72	沖 縄 県 立 読 谷 高 等 学 校	仲宗根 勝	ICT機器を利用した協働型授業の実践および双方向型授業の研究
73	沖 縄 県 立 前 原 高 等 学 校	大城 健	入試改革の流れに合わせた生徒募集の強化を学校活性化につなげる研究
74	沖 縄 県 立 小 禄 高 等 学 校	上地 勇人	落ち着いた学習環境作りをめざして ～多忙化・多忙感の解消～
75	沖 縄 県 立 中 部 農 林 高 等 学 校	前川 守克	「SDGsを視野に入れた有機資源の活用について」
76	沖 縄 県 立 中 部 商 業 高 等 学 校	新里 彰久	オンラインを活用した学習支援の研究
77	沖 縄 県 立 宜 野 座 高 等 学 校	上地 さとみ	キャリア教育の実践から生徒募集を紡ぐ取り組み
78	沖 縄 県 立 浦 添 商 業 高 等 学 校	山内 和弘	ICT機器を活用した働き方改革の推進
79	沖 縄 県 立 南 部 工 業 高 等 学 校	宮里 哲	パテントコンテストへの取組を通して目的意識及び技術の向上を図る
80	沖 縄 県 立 南 風 原 高 等 支 援 学 校	金城 毅	「特色ある教育課程」の実践について ～職員の専門性の向上及び実習の充実に向けての取組み～
81	沖 縄 県 立 や え せ 高 等 支 援 学 校	山田 久美子	学校における交流及び共同学習を通じた障害者理解(心のバリアフリー)の推進
82	沖 縄 県 立 宮 古 特 別 支 援 学 校	西永 浩士	作業学習に喫茶営業を取り入れ地域の人々との触れ合いを通して自立に向けたコミュニケーション力の向上を図る
83	沖 縄 県 立 沖 縄 盲 学 校	村吉 和枝	視覚に障害のある幼児児童生徒一人一人を確かに育てる専門性の維持・継承・発展を目指して
84	沖 縄 県 立 森 川 特 別 支 援 学 校	友利 敏博	プログラミング教材を通しての児童生徒の主体性を伸ばす研究
85	沖 縄 市 立 泡 瀬 小 学 校	高江洲 実	自らの考えを持ち他者と関わり表現できる児童の育成 算数科の「問い」を引き出す発問の工夫・改善を通して
86	糸 満 市 立 糸 満 南 小 学 校	島 史生	主体的・対話的で深い学びに向かう児童の育成 ～道徳科におけるねらいにせまるための発問の工夫を通して～
87	沖 縄 市 立 高 原 小 学 校	平良 その子	思考力・判断力・表現力を育成する授業づくり ～主体的・対話的で深い学びを促す学習指導を通して～
88	糸 満 市 立 糸 満 小 学 校	屋良 朝俊	思考力・判断力・表現力の育成 ～「見方・考え方」を働かせた学習活動を通して～
89	那 覇 市 立 識 名 小 学 校	松岡 泰成	思考力・判断力・表現力の育成を目指した言語活動の充実 ～算数科における「かく活動」の指導を通して～
90	南 風 原 町 立 翔 南 小 学 校	野原 泰	主体的に問題解決に取り組む児童の育成
91	嘉 手 納 町 立 屋 良 小 学 校	平良 好光	基礎的な知識・技能を身に付け、見通しをもち、筋道を立てて考え、表現する能力の育成
92	南 城 市 立 知 念 小 学 校	田山 宗則	「友達と協働して問題を解決する児童の育成」～深い学びにつなげる、対話的な授業展開の工夫を通して～
93	八重瀬町立東風平小学校	與儀 毅	様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら学校生活を豊かにする
94	宮 古 島 市 立 西 城 小 学 校	国仲 克紀	認め合う心と向上心をもった豊かな実践力のある子の育成 ～総合的な学習における農業体験を通して～
95	南 城 市 立 大 里 北 小 学 校	平良 正哉	主体的に学び、自分の考えや思いを伝え合う児童の育成をめざして ～対話活動の工夫を図る授業実践を通して～
96	読 谷 村 立 渡 慶 次 小 学 校	松田 忠	食べる喜びや楽しさを味わう環境づくり ～野菜の栽培活動を通して～
97	那 覇 市 立 大 名 小 学 校	平安山 敏和	自分の考えを表現し互いに学びあう子の育成 ～算数的活動を通して「できた!」と実感できる授業づくり～
98	糸 満 市 立 光 洋 小 学 校	與那嶺 靖	環境美化活動を通して優しく、思いやりの心や協力性を養うとともに、豊かな人間関係を育成する。
99	うるま市立宮森小学校	新垣 桂	自らの考えをもち、伝え合い、高め合うことができる子ども達の育成 ～国語科における交流活動の工夫・改善を通して～
100	宜野湾市立普天間小学校	銘苅 豊	「思考力・判断力・表現力を身につけた児童の育成」～国語科における説明的文章の学習を通して～
101	うるま市立田場小学校	稲福 盛也	「わかる・できる」を目指した授業改善の推進を通して、確かな学力を身につけた児童を育てる
102	沖 縄 市 立 コ ザ 中 学 校	島村 一司	「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」～主体的な学びを育む授業づくりの実践～
103	南 風 原 町 立 南 星 中 学 校	金丸 利康	新学習指導要領における指導と評価の一体化について ～各教科における、主体的・対話的で深い学びの実践を通して～
104	うるま市立上勝中学校	玉城 健蔵	「主体的・対話的な深い学びを育む授業改善」～何を学んでどう学ぶかという視点を通して～
105	宮 古 島 市 立 平 良 中 学 校	池城 健	育成すべき資質・能力の向上を目指した「社会に開かれた教育課程」の推進
106	沖 縄 県 立 首 里 東 高 等 学 校	新島 郁子	見通しを持って主体的に行動できる生徒の育成を目指して

No	学 校 名	学校長名	研 究 テ ー マ
107	沖縄県立美里工業高等学校	喜屋武 勝	工業専科の技術を活かした新型コロナウイルス飛沫ブロッカーの製作及び市内の小・中学校への配布を目指して
108	沖縄県立石川高等学校	川畑 三矢	生徒の学習支援に向けた取組研究（遠隔授業に向けて）
109	沖縄県立沖縄工業高等学校	大城 栄三	セルロース系バイオマス燃料の研究 一環境及びエネルギー教育を取り入れた教材の作成一
110	沖縄県立北山高等学校	宮城 保	遠隔授業等（オンライン授業等）に備えた授業改善の工夫
111	沖縄県立真和志高等学校	城間 敏生	新型コロナウイルス感染症対策に伴う、福祉科における実習教科の実施方法の研究
112	沖縄県立那覇特別支援学校	瀬長 忍	自立と社会参加に向けたコネクション・カリキュラムを目指して ～3つの資質・能力を踏まえた個別の指導計画の作成と活用を通して～
113	那覇市立曙小学校	田場 盛博	「読む力」を育み主体的に学習する児童の育成 ～説明的文章の系統的な指導を通して～
114	西原町立西原南小学校	豊里 輝代	思考力・判断力・表現力を育むための授業の改善 ～言葉による見方・考え方を働かせる授業を通して～
115	北中城村立島袋小学校	徳村 直美	主体的・対話的で深い学びに向かう児童の育成 ～村ドリーム7の視点を生かした授業の充実を通して～
116	宜野湾市立大田小学校	宮城 信夫	確かな学力向上を図り、夢に向かい心豊かでたくましく児童を育てる
117	那覇市立安謝小学校	野原 洋子	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善 ～充実した数学的活動の取り組みを通して～
118	西原町立西原東小学校	宮城 卓司	数学的思考力・表現力を育む授業づくり ～言葉や数、式、図などを使って考え、表現する活動を通して～
119	うるま市立川崎小学校	伊波 みどり	言葉による見方・考え方を働かせた思考力・想像力の育成 一叙述や描写を基にした読解指導の工夫を通して一
120	豊見城市立豊見城小学校	長田 宗彦	花を愛し、人を愛する、心豊かな児童の育成をめざして ～学校・地域連携の花作りをを通して～
121	豊見城市立伊良波小学校	金城 光吉	国語科における書く力を育む学習指導の工夫 一主体的な学習指導の工夫を通して一
122	東村立有銘小学校	平良 智	自分の思いや考えを表現できる児童の育成 ～書く力を育てる指導の工夫を通して～
123	浦添市立沢崎小学校	金城 孝子	主体的で対話的、つながる授業づくり ～国語科における、考えを明確にした「書くこと」の活動を通して～
124	宜野湾市立嘉数小学校	田崎 明美	「主体的・対話的で深い学びのある授業の創造」
125	那覇市立垣花小学校	宮城 弘之	国語科で「言語活動」場を設定することで、児童の「思考力・判断力・表現力」を育むことが出来るであろう。
126	うるま市立あげな小学校	平田 治子	自分の考えをもつて説明できる児童の育成 ～教科等横断的な視点を持ち「かく」力の向上を図る指導を通して～
127	うるま市立高江洲小学校	水流 伸夫	自分の言葉で表現し、ともに学び合いながら考えを深める子の育成 ～説明的文章を論理的に読む指導の工夫を通して～
128	糸満市立喜屋武小学校	天久 三千代	校内緑化推進に特化した、環境整備の充実と「みさきっ子」の勤労に協力する心や感謝する心の育成を資する。
129	那覇市立銘苅小学校	儀間 篤	銘苅小学校ふるさと意識を育む地域学習教材の作成
130	浦添市立浦添中学校	内田 篤	自ら学習に取り組む、思考・判断・表現できる生徒の育成 ～浦添中授業スタイルによる授業改善を通して～
131	沖縄県立浦添高等学校	儀間 清浩	校内緑化（あじさい畑で憩いの場を作ろう）
132	沖縄県立泊高等学校 定時制午前部	玉城 智枝美	1.遠隔授業に係る動画作成等研修実施による教職員のICT活用スキルアップと授業動画配信による生徒の学びの保障研究 2.生徒達が自ら学びに向かう環境醸成と学校全体での学び支援研究
133	沖縄県立宮古高等学校	津野 良信	部活動支援による学校活性化の取り組み
134	沖縄県立浦添特別支援学校	渡久地 直哉	生徒の個に応じた余暇活動に関する実践研究
135	那覇市立壺屋小学校	赤嶺 弘昭	運動に親しみ、楽しんで運動に取り組む児童の育成 ～協働的・対話的な体育授業・体育活動を通して～
136	那覇市立城東小学校	金城 光明	学び合い・高め合う授業づくり ～説明文における「書く力」をつけるための言語活動の充実～
137	南城市立知念中学校	垣花 英正	学びの質を高める「授業改善」 ～「主体的・対話的で深い学び」を意識した授業づくりを通して～
138	沖縄県立大平特別支援学校	與儀 達子	知的障害教育における自立活動の系統的指導 ～自立活動コーディネーターの配置と校内相談の充実を通して～
139	南風原町立津嘉山幼稚園	濱元 朝純	気持ちや考えを伝え合う力を育む環境構成と援助の工夫
140	南城市立玉城幼稚園	屋比久 守	主体的・対話的で深い学びの実現を目指して ～夢中になって遊び込むための環境の構成と援助の工夫を通して～
141	読谷村立古堅幼稚園	仲村 美恵子	幼児が身近な生きものと関わりながら、命の尊さを学ぶ環境の工夫と改善
142	幼保連携型認定こども園 なごみの広場	杉本 洋介	子どもの心をはぐくむ環境作り
143	読谷村立渡慶次幼稚園	松田 忠	園児の興味・関心を引き出す環境構成の工夫 ～表現する楽しさを味わう活動を通して～
144	あすなろグレース認定こども園	比嘉 恵理子	職員の資質向上 専門性を高める
145	社会福祉法人わかば友の会 わかば認定こども園	下地 春江	子どもの好奇心・探求心を引き出し、みんなで発見と感動を共有する。
146	石垣市立あまかわ幼稚園	仲地 秀将	生き生きと遊び、学ぶ中で生きる力を育む
147	うるま市立伊波幼稚園	池味 勇	3年保育における各年齢の発達を理解した保育の充実 ～幼児の主体性を大切にした環境構成の工夫～
148	本部町立本部幼稚園	具志 順子	小学校教育へ円滑な接続を目指す活動の工夫 ～運動遊び・リズム・遊び・絵本とお友だち～
149	うるま市立宮森幼稚園	新垣 桂	一人ひとりが充実した園生活を送る援助の工夫 ～身近な自然に親しみがもてる環境作りを通して～
150	那覇市立真和志中学校	松島 良規	「自ら学び、共に学ぶ生徒の育成」～対話的な学び合いの工夫を通して～
151	今帰仁村立天底小学校	濱川 栄優	生きる力を身に付けた児童の育成 ～主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を通して～
152	名護市立真喜屋小学校	新城 高樹	「学び合い」の授業を通じた確かな学力の向上
153	名護市立東江小学校	黛 智久	学習した内容が確実に定着し、活用できる児童の育成
154	浦添市立港川幼稚園	大嶺 悟	遊びの中で身体機能の調和的発達を促すための環境と援助の工夫 ～ビジョントレーニングを通して～
155	久米島町立球美中学校	中村 斉	生徒一人一人の「自己肯定感」を高め、「学び・育ち」が実感できる校内組織体制の確立
156	与那国町立与那国小学校	宮里 晋	児童が課題をつかみ、主体的に学ぶ授業づくり ～教科の見方・考え方を踏まえた発問による課題の焦点化を通して～
157	久米島町立比屋定小学校	平良 健治	豊かな社会性を身につけた比屋定っ子の育成
158	宮古島市立下地小学校	與那覇 修	「対話的に学ぶ児童の育成」及び「学び続ける教師集団づくり」を目指したブラッシュアップミーティング
159	与那国町立与那国小学校	志伊良 洋子	主体的に課題解決に向かい、学び合う児童の育成
160	恩納村立うんな中学校	宜志富 清博	主体的・対話的で深い学びのある授業づくり ～ICTを活用した授業を通して～
161	竹富町立白浜小学校	武富 悟	自ら考え表現できる児童の育成 ～各教科等において「主体的・対話的で深い学び」を通して～
162	那覇市立松城中学校	山里 望	不登校対策における学習を補償する適応指導の充実 ～主体的家庭学習の促進と実技指導の工夫～
163	名護市立安和小学校	座間味 玲子	伝え合う力を高めるための指導の工夫 ～言語活動の充実を通して～
164	糸満市立糸満南こども園	新垣 ひとみ	園児が主体的に活動できる環境の工夫 ～一人一人が「やりたい！」を発揮できる環境づくりを目指して～
165	うるま市立中原小学校	目取真 淳	「主体的に学び、豊かに表現する児童の育成」～国語科における説明的文章を中心とした授業改善を通して～
166	糸満市立糸満中学校	伊井 秀治	確かな学力を身につけ、主体的に学び合い高め合う生徒の育成
167	幼稚園型認定こども園 学校法人ひまわり子ども園 牧港ひまわり幼稚園	伊波 枝美子	こども園で楽しく過ごす時間をろう ～絵画指導、制作遊びを通して～
168	沖縄県立泊瀬特別支援学校	長浜 勝直	肢体不自由特別支援学校における支援機器等を活用した学習環境の充実
169	宜野湾市立大謝小学校	早田 実	自分の思いや考えを表現できる児童の育成 ～主体的・対話的で深い学びのある授業づくりを通して～
170	那覇市立城岳小学校	宮里 寿子	校内研「数学的に考える資質・能力の育成」～数学的活動を通して～

◎へき地学校教育支援事業助成 21校 1,050,000円 2020（令和2）年度実績（二次募集を含む）

No	学 校 名	学校長名	研 究 テ ー マ
1	石垣市立平真小学校	仲皿 利治	主体的・対話的で深い学びを実現できる児童の育成 ～算数科における交流場面の指導の工夫を通して～
2	石垣市立崎枝小中学校	嘉良 寧	近隣校と協力し道徳性を深める ～web会議システムを活用した道徳の授業～
3	石垣市立伊原間中学校	仲吉 永克	確かな学力を身につけ、未来を拓く生徒の育成
4	うるま市立津堅小中学校	大庭 真由美	主体的に学ぶ児童生徒を育成し、基礎的・基本的事項の習得を図る ～少人数授業での対話の工夫を通して～
5	宮古島市立伊良部島中学校	宮城 亮典	英語ルームを活用した英語学習と国際理解
6	石垣市立石垣小学校	市原 敦孝	主体的・対話的で深い学びの授業改善
7	宮古島市立北中学校	久高 三彦	他者と協働し、粘り強く課題を解決しようとする態度を育む授業づくりを通して
8	国頭村立安田小学校	田仲 浩美	地域とつながる ～学びあい・深め合う授業づくりを通して～

No	学 校 名	学校長名	研 究 テ ー マ
9	石 垣 市 立 石 垣 中 学 校	宮良 信浩	「課題について対して主体的に取り組もうとする生徒会活動の推進」 ～石中運動・校種間交流・保育体験を通して～
10	石 垣 市 立 平 久 保 小 学 校	宮里 満男	自分の考えをもち、豊かに表現する児童の育成 ～楽しく言語に親しませる指導の工夫を通して～
11	久 米 島 町 立 清 水 小 学 校	野原 勉	「読む力」を高め、論理的に自分の考えを表現できる児童の育成 ～言語活動を図る他者との関わりを通して～
12	竹 富 町 立 竹 富 中 学 校	黒島 善一	SDG s 海洋教育プロジェクト ～プラスチックゴミを出さない工夫～
13	宮 古 島 市 立 西 城 中 学 校	比嘉 豊樹	主体的・対話的に学び、自己の考えを深める生徒の育成 ～自らの考えを持ち、伝え合う活動を取り入れた授業実践を通して～
14	宮 古 島 市 立 南 小 学 校	砂川 修	主体的に取り組む、学びにつなげる児童の育成を目指して ～支持的風土のある学級づくりを通して～
15	竹 富 町 立 西 表 小 学 校	仲地 みゆき	自主・自立・自律の精神を育む教育活動の工夫と実践 ～15の島立ちに向けた教育活動の実践を通して～
16	う る ま 市 立 津 堅 中 学 校	大庭 真由美	へき地中学校における、新しい学校様式下での学習のあり方
17	竹 富 町 立 小 浜 小 学 校	漢那 ひとみ	雑草の堆肥化による環境保全
18	東 村 立 高 江 小 学 校	宮城 達也	保護者・地域人材を活用した特色ある授業づくり
19	伊 江 村 立 伊 江 中 学 校	玉城 学	伊江ITものづくり人材育成プロジェクト
20	伊 平 屋 村 立 野 甫 小 学 校	鎌田 登志男	学び合い、高め合う児童生徒の育成 ～地域素材を活かした授業作りを目指して～
21	宮 古 島 市 立 平 良 第 一 小 学 校	佐久本 聡	進んで学び、活動する児童の育成 ～集団づくりと協働の学びを通して～

◎教育団体研究助成 30団体 8,010,000円 2020 (令和2) 年度実績

No	所 属 所 名	No	所 属 所 名	No	所 属 所 名	No	所 属 所 名
1	沖縄県教職員組合 (本部)	9	沖縄県小学校長会	17	沖縄県立学校事務長会	25	沖縄県学校体育研究連合会
2	沖縄県教職員組合 国頭支部	10	沖縄県中学校長会	18	沖縄県立学校事務職員協会	26	一般財団法人 沖縄県高等学校定時制通信制教育振興会
3	沖縄県教職員組合 中頭支部	11	沖縄県高等学校長協会	19	沖縄県公立幼稚園・こども園長会	27	図工美術会議
4	沖縄県教職員組合 那覇支部	12	沖縄県特別支援学校長会	20	沖縄県高等学校文化連盟	28	沖縄県公立学校等女性管理職研究協議会
5	沖縄県教職員組合 島尻支部	13	沖縄県公立小中学校教頭会	21	沖縄県学校安全教育推進協議会	29	沖縄県マルチメディア教育研究会
6	沖縄県教職員組合 宮古支部	14	沖縄県高等学校教頭・副校長会	22	沖縄県進路指導研究会	30	沖縄県へき地教育研究連盟
7	沖縄県教職員組合 八重山支部	15	沖縄県特別支援学校副校長・教頭会	23	いろいろな場所で生まれる美術		
8	沖縄県高等学校障害児学校教職員組合	16	沖縄県公立小中学校事務職員協会	24	沖縄県高等学校定時制通信制教頭・副校長協会		

◎教育研究大会助成 2団体 150,000円 2020 (令和2) 年度実績

No	団 体 名
1	九州地区肢体不自由教育研究大会協議会
2	沖縄県訪問教育研究会

◎教育実践研究論文

最優秀賞 (2編) 研究助成金 (個人15万円・共同20万円) 2019 (令和元) 年度実績

No	学 校 名	職 名・氏 名	研 究 テ ー マ
1	沖縄市立越來中学校	教諭 大城 拓馬 山口 大輔	科学クラブによるESDの実践研究 ～アクアポニックスシステムの探求と活用を通して～
2	竹富町立竹富小中学校	教諭 与那国 賢一	「暗記科目」としての社会科からの脱却と社会科の有用性の実感をめざして ～主体性を高める問いの工夫と協働性を高める学習活動をとらして～

優秀賞 (6編) 研究助成金 (個人10万円・共同15万円)

No	学 校 名	職 名・氏 名	研 究 テ ー マ
1	琉球大学 教育学部附属小学校	教諭 山中 隆行	小学校外国語の語原指導における効果的な指導の在り方に関する一考察 ～We Can!2 Unit3 [He is famous.She is great.] の実践を通して～
2	那覇市立松島小学校	教諭 赤嶺 達也	どの子も作文が書けるようになる指導の工夫 ～書く前に友達と話す活動を通して～
3	糸満市立西崎小学校	教諭 當眞 桜子	経験したことを明確に伝える文章を書くことのできる児童の育成 ～短冊の活用や五感を使って書く活動を通して～
4	沖縄県立浦添工業高等学校	教諭 濱川 愛理	食文化伝承と食育推進のスペシャリストを育成するための指導の工夫 ～専門的知識と技術を活かした発信力を養う授業を目指して～
5	沖縄県立鏡が丘特別支援学校	教諭 宜野座 雄 末松 進也	将来の自立と社会参加を促す「生きる力」の育成を目指して ～ポッチャ競技を中心とした実践の整理と今後の発展に向けて～
6	沖縄県立博物館・美術館	主任学芸員 富原 圭子	地域の美術と美術文化との出会いを作る美術館の学習支援プログラムの工夫 ～美術館鑑賞教材「ニシムイ」の開発と中学校鑑賞授業の連携・協働を通して～

優良賞 (26編) 研究助成金 (個人5万円・共同10万円)

No	学 校 名	職 名・氏 名	研 究 テ ー マ
1	沖縄市立北美小学校	教諭 城間 吉主	自己学習能力の育成 ～基礎学力の定着と学びの型の指導を通して～
2	うるま市立高江洲小学校	教諭 石川 奨	みんなで考え、心に響く道徳の時間をめざして ～導入における発問の工夫を通して～
3	那覇市立泊小学校	教諭 山本 鐘兵	国語科を核とした劇化活動の取り組み ～主体的・対話的で深い学びを目指して～
4	那覇市立安謝小学校	教諭 桑江 和子	いじめを考える単元「共に生きる」(桑江 2019) の有効性についての研究 ～単元学習クラスと1時のみ学習クラスでの授業発話等の結果の考察を通して～
5	那覇市立松川小学校	教諭 馬淵 大輔	主体的・対話的で深い学びによる、情報活用能力の育成 ～理科学習におけるデジタル思考ツールを活用した情報の可視化と思考を再構築する活動を通して～
6	那覇市立大道小学校	教諭 新里 さつき	児童の学習意欲を高め、課題を解決する授業の工夫 ～ ICT機器を活用した「マット運動」における学びの場の設定を通して～
7	久米島町立大岳小学校	教諭 山崎 貴久	自分の内面を豊かに表現できる児童の育成 ～物語文における、文章を評価しながら読む学習活動を通して～
8	糸満市立西崎小学校	教諭 赤嶺 栄	中心を明確にした文章を意欲的に書くことのできる児童の育成 ～導入場面や振り返り、パフォーマンス評価の設定を通して～
9	宮古島市立南小学校	教諭 上地 洋平	児童が主体的に学ぶ学習課題と発問の工夫 ～「フレームリーディング」でつくる物語教材の授業を通して～
10	石垣市立白保小学校	教諭 大城 亜美	自己肯定感を高める指導の工夫 ～総合的な学習を通して～
11	石垣市立八島小学校	教諭 上原 和子	自分の内面を豊かに表現できる児童の育成 ～書く活動を見据えた、教材との関わり方の工夫を通して～
12	今帰仁村立今帰仁中学校	教諭 崎濱 功美	スピーキングテストの実践 ～評価基準表とタスクの作成を通して～
13	沖縄県立球陽中学校	教頭 伊波 寿光	数学的な見方や考え方を育てる指導の工夫 ～「イメージリスト」を作成・活用した星形n角形の深化的学習を通して～
14	那覇市立真和志中学校	教諭 濱川 尚子	よりよい人間関係を築く学級集団の育成 ～学級集団の発達段階を捉えた話し合い活動の工夫を通して～
15	沖縄県立首里高等学校	教諭 山崎 太志	モバイル端末活用により古語単語学習の習慣化を図る ～学習アプリが古語単語学習の習慣化に対して有効であるか検証する～
16	沖縄県立浦添工業高等学校	教諭 諸久村 太一	育成すべき人材に対する創意工夫に基づく学習指導 ～主体的・対話的で深い学びの視点における学習ツールの作成・活用を通して～
17	沖縄県立沖縄水産高等学校	教諭 加藤 司	水産高校における技能伝承モバイルラーニングシステムの開発と評価 ～ARCSモデルによる評価及び学習動機付け要因の探索～
18	沖縄県立宮古総合実業高等学校	教諭 安座間 康	科目「野菜」におけるプロジェクト学習を通して思考力・判断力・表現力を育む農業教育の取り組み ～CheckとActionを強化することによる、思考の振り返り及び新たな課題に気付かせる工夫～
19	沖縄県立沖縄ろう学校	教諭 名嘉 信祐	資質・能力の向上をめざした聴覚障害児教育の取組について ～認知心理学的知見を活用した授業づくりを通して～
20	沖縄県立美咲特別支援学校	教諭 長嶺 春香	働くことへの興味と意欲を育む取り組み ～家庭との連携を通して～
21	沖縄県立美咲特別支援学校	教諭 高嶺 忍	特別支援学校における主権者教育の在り方について ～本校高等部の取り組みを通して～
22	沖縄県立美咲特別支援学校 はなざき分校	教諭 船越 裕輝	話しことばを代筆して綴る日記指導の考察 ～肢体不自由児Aくんの内面的な成長を中心に～
23	沖縄県立大平特別支援学校	教諭 赤嶺 太亮	知的障害を伴う自閉症児の自立活動におけるiPadの活用に関する研究 ～自己肯定感の高まりと適切な関わり方を学ぶためのコミュニケーション支援の工夫～
24	沖縄県立西崎特別支援学校	教諭 赤嶺 宮城 知念 知念 悠希子 悠希子 澄るか	気持ちのコントロールが難しいA児の中心課題に基づいた自立活動の実践 ～複数の教師で連携して行う「課題関連図」「自立活動手順シート」を活用した取り組み～
25	沖縄県立八重山特別支援学校	教諭 小渡 晋二郎	タブレット端末を活用した伝え合う力を育てる指導 ～ipad版マイクラフトを題材にした共同学習とプログラミング体験～
26	沖縄県立八重山特別支援学校	教諭 戸ヶ瀬 哲平	識字に難しさのある生徒の卒業後を見据えた支援 ～読みの困難などを補うためのテクノロジーを用いた代替手段の獲得を目指して～

③ 教育文化事業 豊かな文化を育むために

◎2020 (令和2) 年度

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、八重山地区で予定していた「クラシックコンサート」は、延期となりました。「いっこく堂講演会」は、国頭地区で一部調整の上、実施予定となっています。

文化講演会は、第28回教育実践研究論文表彰式(2021(令和3)年1月24日(日))において、竹内 薫氏(サイエンス作家)を講師に「才能をつぶす子育て、伸ばす子育て」のテーマで予定しています。ご期待下さい。

2.福祉事業

※ 会員の福祉の充実に努めています ※対象の会員とは、基本の教弘保険に加入している教弘会員

◎2019 (令和元) 年度実績 (18,137,000円)

区 分	人 数	金 額
1. 結婚祝金	135人	1,350,000円
2. 出産祝金	349人	1,745,000円
3. 入学祝金	248人	1,240,000円
4. 検診補助 「人間ドック・脳ドック」の補助	3,932人	11,796,000円
5. 宿泊補助	853人	1,706,000円
6. 研修旅行補助	15人	300,000円

◆日教弘ライフサポート倶楽部 お問合せ先

「日教弘ガイダンスセンター」
tel : 0120-371-969
受付時間 9:30～17:00 (土日祝日を除く)
「日教弘ライフサポート倶楽部」
ホームページ <http://www.nikyoko.net/>



◎損害保険事業

教弘まなびやスーパープラン

教職員のみなさま専用の保険

2020年8月1日始期(保険期間1年)
(2020年8月1日午後4時～2021年8月1日午後4時)

自動更新

2020年8月1日始期(保険期間1年)
(2020年8月1日午後4時～2021年8月1日午後4時)

2020年6月1日(月)～2021年6月18日(金)

教職員賠償責任保険 + 団体総合生活保険(まなびや)

約45%割引

加入者資格

1. 公立学校の教職員 2. 国立学校および私立学校の教職員
3. 教育委員会の職員 4. 教職員団体の役員及び職員
5. 日教弘および日教弘の本部および各県の職員
6. 1～5の退職者

加入者資格

1. 公立学校の教職員 2. 国立学校および私立学校の教職員
3. 教育委員会の職員 4. 教職員団体の役員及び職員
5. 日教弘および日教弘の本部および各県の職員
6. 1～5の退職者

損害賠償請求に!

1. 教職員個人の争訟費用(弁護士費用等)および損害賠償金を補償!

2. 初年度加入日より前に行った行為に起因する請求も補償!

3. 教職員でなくなった後に5年間の補償!

4. 初期対応費用も補償!

事故やトラブルに!

1. ご本人のケガを入院・通院1日1日から補償します。

2. ご本人およびご家族の日常生活の賠償事故を補償!

3. 生徒の見舞い費用も補償!

4. 携行品損害・救済者費用等も補償!

このご案内は、「教職員賠償責任保険」「団体総合生活保険(まなびや)」の概要について説明したものです。保険の内容は、パンフレットをご覧ください。詳細は団体保有する保険約款により、ご不明な点がございましたら、代理店または引受保険会社 東京海上日動火災保険株式会社へお問い合わせください。ご加入の際は、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。

2020年3月作成 募集文書番号19-T07362

退職予定者説明会 11月、1・2月に6地区で実施予定

2020年度退職予定者説明会及びセミナーを11月(定年)、1・2月(早期退職)に下記の通り行います。

八重山	11月14日(土) 午前 2月20日(土) 午前
宮古	11月15日(日) 午前 2月21日(日) 午前
国頭	11月21日(土) 午前 2月 6日(土) 午前
中頭	11月21日(土) 午後 2月 6日(土) 午後
那覇	11月28日(土) 午前 1月31日(日) 午前
島尻	11月28日(土) 午後 1月31日(日) 午後

教弘フルガード

教職員・退職者およびご家族のみなさま向けの保険

2020年8月1日始期(保険期間1年)
(2020年8月1日午後4時～2021年8月1日午後4時)

自動更新

2020年6月1日(月)～2021年6月18日(金)

45%割引

加入者資格

1. 公立学校の教職員 2. 国立学校および私立学校の教職員
3. 教育委員会の職員 4. 教職員団体の役員及び職員
5. 日教弘および日教弘の本部および各県の職員
6. 1～5の退職者

加入者資格

1. 公立学校の教職員 2. 国立学校および私立学校の教職員
3. 教育委員会の職員 4. 教職員団体の役員及び職員
5. 日教弘および日教弘の本部および各県の職員
6. 1～5の退職者

1. ケガによる1日からの入院・通院を補償!

2. 天災(地震など)によって生じたケガも補償!

3. 日常生活に起因する賠償責任を補償します!

退職後もご家族もしっかりと守ります。

フルガードにおける事故事例

傷害事故(国内外補償)

賠償事故(国内外補償)

携行品損害(国内外補償)

救済者費用等(国内外補償)

このご案内は、「団体総合生活保険(フルガード)」の概要について説明したものです。保険の内容は、パンフレットをご覧ください。詳細は団体保有する保険約款により、ご不明な点がございましたら、代理店または引受保険会社 東京海上日動火災保険株式会社へお問い合わせください。ご加入の際は、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。

2020年3月作成 募集文書番号19-T07364

教弘まなびやスーパープラン及び、教弘フルガードに関するお問い合わせ・資料請求先

代理店 (株)沖縄教弘 TEL 098 (867) 1765 〒900-0014 沖縄県那覇市松尾1-7-12
提携・引受保険会社: 東京海上日動火災保険株式会社 沖縄支店 沖縄支社 TEL 098 (867) 7733

教職員収入 ロングウェイサポート

団体総合生活保険

割引拡大！
団体割引
30%
割引

「病気・ケガで働けなくなったら…」
そんな時の収入の減少を長期にカバー

2020年8月1日始期(保険期間1年)
(2020年8月1日午後4時～2021年8月1日午後4時)

自動
更新

中途加入
できます 中途加入の
補償期間 加入依頼日の属する月の
翌月1日午前0時～2021年8月1日午後4時

募集期間 2020年6月1日(月)～2021年6月18日(金)

長期間働けず収入もストップ・・・
そんな状態にあなたは耐えられますか？



**教職員は公的保障があるから大丈夫！
と思っていないですか？**

就業障害が発生した場合、傷病休暇期間、自治体、共済組合等の公的保障を受けられる期間を過ぎると収入が大幅に減少します。

メリット
01

教職員の方専用の制度設計

公立の教職員の方の一般的な傷病休暇期間(3ヶ月)や、その後の公的保障(3年)、公的年金による給付等を考慮した制度設計。

メリット
03

在宅療養も対象

入院中だけでなく、在宅療養で働けない場合も補償します。

メリット
05

職場復帰後も引き続き補償

復帰後、身体障害が残ったために所得が健康時の80%未満に減少している場合にも、原則、最長60歳の誕生日まで所得喪失率に応じた保険金が交付されます。

メリット
02

60歳までの長期間補償

病気やケガでの入院や自宅療養中、所定の働けない状態が続く場合、原則、最長60歳の誕生日まで保険金をお支払いします。

メリット
04

精神障害補償(最長5年間)

うつ病などの所定の精神障害の場合も最長5年間補償されます。

メリット
06

**妊娠・地震により生じた身体障害による
就業障害も補償**

妊娠・出産または流産によって生じた身体障害、地震・噴火またはこれらによる津波による身体障害を事由とする就業障害についても補償します。

FAX資料請求書

このご案内は、「団体総合生活保険」の概要について説明したものです。保険の内容は、パンフレットをご覧ください。詳細は保険約款および特約によりますが、ご不明な点がございましたら、代理店または引受保険会社(東京海上日動火災保険株式会社)におたずねください。ご加入に際しては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。

公益財団法人 日本教育公務員弘済会
www.nikkyoko.or.jp
教職員収入ロングウェイサポート 検索
2020年3月作成 募集文書番号19-T07365



フリガナ		
お名前		
資料送付先	自宅住所	(〒)
	電話番号	() -

勤務先	
-----	--

FAX 098-869-3544

各種保険のお申し込み・お問い合わせ・資料請求先は

代理店 株式会社教弘 Tel 098(867)1765 〒900-0014 沖縄県那覇市松尾1-7-12
提携・引受保険会社 東京海上日動火災保険株式会社 沖縄支店 沖縄支社 TEL 098-867-7733(代表)

当社は、ご記入いただきました上記個人情報、東京海上日動火災保険株式会社より保険業務の委託を受けて行う損害保険およびこれに付帯・関連するサービスの提供等に利用させていただくことがあります。

教弘参事紹介

教弘参事の皆さんが学校等にお伺いして(公財)日教弘沖縄支部の事業内容についてご説明させていただいております。どうぞよろしくお願い致します。



與座博好

前 沖縄県立総合教育センター所長
中頭地区担当

この度、参事として活動させていただくことになりました。よろしくお願い致します。

日教弘沖縄支部は、「最終受益者は子どもたち」という理念のもと、県内の子どもたち、先生方や学校を応援する団体として、3つの事業①教育振興事業(奨学事業・研究助成事業・教育文化事業)、②福祉事業、③共済事業を展開しています。先生方の教職生活をより豊かにし、日々の教育実践の充実につながるよう取り組んで参ります。どうぞ宜しくお願いいたします。



仲間 靖

元 開邦高校校長
県立学校(国頭地区除く)担当



金城邦明

前 久志中学校教頭
国頭地区(県立学校含む)担当



石垣幸子

前 名蔵小中学校校長
八重山地区担当

私は現職時代、日教弘に公私共々大変お世話になりました。その縁もあって八重山地区参事への誘いを快諾しました。参事の仕事として教弘三大事業ご案内のため学校訪問をするのですが、各校教職員皆さんの生き生きとした姿にいつも感動しています。皆さんがこれからも安心して学校教育に専念できるよう応援して行きます。



金城 毅

前 米須小学校校長
那覇・島尻地区担当



屋嘉比邦昭

前 池間小中学校校長
宮古地区担当

3. 共済事業 (提携保険事業)

※ (公財) 日教弘では60年以上にわたりジブラルタ生命と提携して共済事業(提携保険事業)を実施しています。

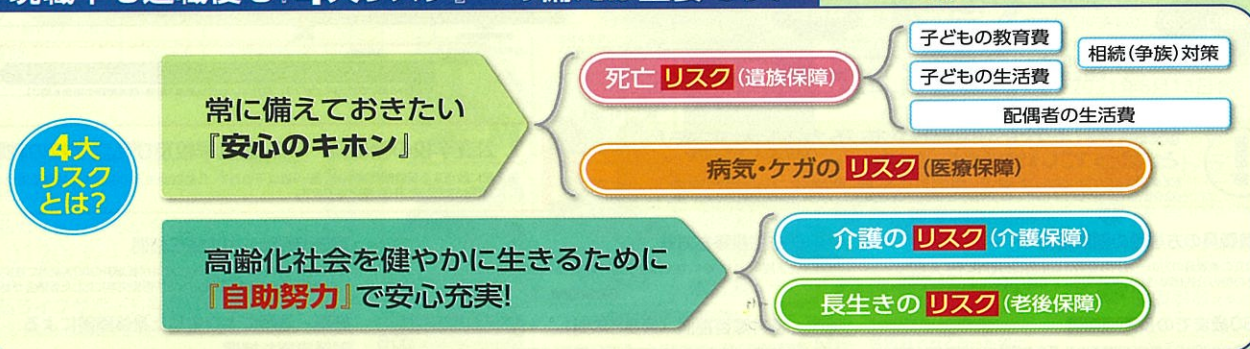


リスクに備える

～「まずは先の快」は ご家族の“お守り”でもあるのです～

いつも子どもたちのために全力投球されている教職員の皆さま。皆さまが安心して暮らしていくためには4大リスクへの備えが重要です。高齢化がますます加速している今、一度立ち止まって皆さまとご家族の将来について考えてみませんか？

現職中も退職後も『4大リスク』への備えは重要です！



『4大リスク』に対応する教職員の皆さまのための教弘保険ラインアップ

新商品

ユース教弘保険 災害割増特約付 集団契約特約付労働保険	新教弘保険 集団契約特約付労働保険	新教弘医療保険α (無配当) 医療保険(14) (保険料払込中無解約返戻金型)	新教弘介護保障付 終身保険 (無配当) 介護保障付終身保険 (低解約返戻金型)	新教弘米国ドル建 個人年金保険 (無配当) 米国ドル建 個人年金保険(19)
-----------------------------------	----------------------	--	---	--

公益財団法人 日本教育公務員弘済会(略称:(公財)日教弘)の教育振興事業(奨学事業、教育研究助成事業、教育文化事業)及び福祉事業は、教弘保険の契約者配当金により運営されており、日本の教育界に貢献しています。

◆為替リスクについて——新教弘米国ドル建個人年金保険は米国ドル建てであり、米国ドルを円に換算するときに為替相場の変動による影響を受けます。したがって、年金受取総額等(米国ドル)を円に換算した場合の金額が、お申込みいただいた円建払込額(円建保険料)を下回ることがあり、損失を生じるおそれがあります。
◆ご契約にかかる費用について——為替交換時(外貨⇄円)には為替交換手数料がかかります。また、保険契約の締結・維持、死亡保障に係る費用等が発生します。
※ご契約の際はジブラルタ生命のライフプラン・コンサルタントを通じて「契約概要」「注意喚起情報」「ご契約のしおり・約款」をご確認ください。
●記載の内容は2020年9月現在のものであり、今後変更されることがあります。

共済事業(提携保険事業)提携会社 ジブラルタ生命保険株式会社 本社/〒100-8953 東京都千代田区永田町2-13-10 教職員のお客様 0120-37-9419 (通話料無料)

ジブラルタ生命 沖縄支社各営業所連絡先

営業所名	所長名	郵便番号	住 所	電話番号	FAX
名 護	上 間 義 広	905-0021	名護市東江 5-11-1 2F	0980-52-2517	0980-53-3045
コ ザ 第 一	滝 田 一 樹	904-2244	うるま市江洲 405-1 サンライズ江洲ビル 2階	098-974-5231	098-974-5188
コ ザ 第 二	三木田 史 郎	904-2244	うるま市江洲 405-1 サンライズ江洲ビル 3階	098-974-5233	098-974-5281
沖 縄 第 一	池 田 智 昭	900-0006	那覇市おもろまち 1-1-2 新都心センタービル 5F	098-860-1271	098-866-5408
沖 縄 第 二	山 崎 浩 次				
沖 縄 第 三	阿 部 智 徳				
沖 縄 第 四	國 吉 由美子				
豊 見 城 第 一	水 野 恵 子	901-0241	豊見城市字豊見城 1138 2F	098-850-0805	098-850-0969
豊 見 城 第 二	松 尾 新	906-0012	宮古島市平良字西里 391 2F	0980-72-1766	0980-75-4717
豊 古 島	川 崎 健				
八 重 山	江 藤 甚之助	907-0013	石垣市浜崎町 2-2-5 2F	0980-82-2733	0980-83-1635

こんな時はお電話を

- 病気やケガをされた場合
- ご登録いただいている内容に変更があった場合
- ご契約の内容を変更したい場合
- 保険証券をなくされた場合

その他、お気軽にご相談ください。

教弘保険に関するお問い合わせは、教職員専用ダイヤルへ

各種お問い合わせは、ジブラルタ生命コールセンターまで

教職員専用
通話料無料 **0120-37-9419**

※この他に一般顧客用 0120-37-2269 もご利用ください。

受付時間
平日 9:00~18:00
土曜 9:00~17:00
(日・祝・12/31~1/3を除く)

この「きょうこう通信 No.021」を
お届けしましたのは

営業所

です。

どうぞご覧ください